

特別成果加算(示談等)請求書 <刑事・少年共通> (書式4-A② H30.4.1版)

弁護士 (登録番号) 提出日 年 月 日

事件番号: 年()第 号 被疑者・被告人・少年 氏名: _____

※①及び②は必ず記載。③～⑧は必要に応じて記載。※要疎明資料(起訴状、追起訴状、示談書、振込通知書等)

①	成果	<input type="checkbox"/> 国選弁護士等の活動として示談等の活動を行った結果、成果を上げ、証する書面の写しを(被疑者)検察官に提出した。(被告人・少年)公判(審判)手続において取り調べられた。 <input type="checkbox"/> 減刑嘆願書取得 / <input type="checkbox"/> 50%相当額以上の賠償 / <input type="checkbox"/> 100%損害賠償 / <input type="checkbox"/> 民法上の和解契約成立(実質的損害賠償)
③	被害者の特定	被疑事実や公訴事実等に掲げられている被害者について「●●他2名」や「●●ら3名」と記載されており、示談等の内容に下記人物についての被害を含む場合、被害者名および被害者との関係(例:配偶者、子供、会社の従業員等)を記載。 ・事件番号 年() 号:被害者(氏名:) 関係:)(氏名:) 関係:) ・事件番号 年() 号:被害者(氏名:) 関係:)(氏名:) 関係:)
④	意向確認について	下記理由により、直接の被害者(被疑事実や公訴事実等に掲げられている被害者)以外と示談等をした。(例:ATM窃盗における銀行以外の第三者(口座名義人等)との示談等、盗品の売却先との示談等) <input type="checkbox"/> 直接の被害者が、自らに対する賠償は不要であると言っているため。 ・事件番号 年() 号:示談等した被害者() ・事件番号 年() 号:示談等した被害者() <input type="checkbox"/> 検察官から指示があったため。 ・事件番号 年() 号:示談等した被害者() ・事件番号 年() 号:示談等した被害者() <input type="checkbox"/> 記録上、直接の被害者が自らに対する賠償が不要であるとの意向が確認できるため。 ・事件番号 年() 号:示談等した被害者() 記録の内容() ・事件番号 年() 号:示談等した被害者() 記録の内容() <small>※報酬算定にあたっては、和解成立との評価ができないケース、(賠償額次第では)50%相当額以上の賠償や100%損害賠償との評価ができないケースがあります。</small>
⑤	還付状況	<input type="checkbox"/> 被害金、被害品は、すべての事件について被害者へ還付されている。 <input type="checkbox"/> 被害金、被害品の一部(下記のとおり)は被害者へ還付されている。 ※還付…(被害弁償以外の)捜査機関や盗品の売却先からの返還、被疑者等による自発的な返還など ・事件番号 年() 号:被害者名() 還付内容() ・事件番号 年() 号:被害者名() 還付内容()
⑥	共犯者との共同賠償について	共犯者と共同で被害弁償した場合、被告人・共犯者間の事前合意の有無等について記載。 <input type="checkbox"/> 共犯者と連名で、被害者へ被害弁償を行った。 <input type="checkbox"/> 共犯者との事前合意あり → 被害者への賠償に関する疎明資料の他に、共犯者間の事前の合意書もしくは共犯者へ事前に支払ったことが分かる疎明資料等を添付してください。 <input type="checkbox"/> 共犯者との事前合意なし → 共犯者による賠償額 ()円
⑦	追送致情報	【国選付添事件のみ】追送致された事件の被害者氏名と被害内容について記載。 ・事件番号 年(少) 号:事件名()被害者()被害額等() ・事件番号 年(少) 号:事件名()被害者()被害額等()
⑧	その他	※上記以外の事情について記載。